

「病院等の開設等に関する指導要綱」の改正新旧対照表(案)

参考資料 9 - 1

改 定 後	現 行
<p>(目的)</p> <p>第1条 この要綱は、病床に係る病院等の開設等に関して事前協議の<u>手続</u>を定めることにより神奈川県保健医療計画による病床整備を進めるとともに、二次保健医療圏の実情や圏域特性等を考慮して当該二次保健医療圏における病床の機能別整備を進め、もって神奈川県保健医療計画の着実な推進を図り、良好な医療供給体制の確保に寄与することを目的とする。</p> <p>(意義)</p> <p>第2条 この要綱における用語の意義は、次項に定めるもののほか、医療法（昭和23年法律第205号。以下「法」という。）、医療法施行令（昭和23年政令第326号）及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）に定めるところによる。</p> <p>2 次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 病床 法第7条第2項第4号に規定する療養病床及び同項第5号に規定する一般病床をいう。</p> <p>(2) 病院等の開設等 病院の開設若しくは病院の病床数の増加又は診療所の病床の設置若しくは診療所の病床数の増加をいう。ただし、法第7条第3項に規定する許可を要しない診療所の一般病床及び法第30条の4第9項に規定する特例許可によるものを除く。</p> <p>(3) 神奈川県保健医療計画 県が法第30条の4第1項の規定により定めた神奈川県における医療を提供する体制の確保に関する計画をいう。</p> <p>(4) 二次保健医療圏 県が法第30条の4第2項第12号に規定する主と</p>	<p>(目的)</p> <p>第1条 この要綱は、病床に係る病院等の開設等に関して事前協議の<u>手続</u>きを定めることにより神奈川県保健医療計画による病床整備を進めるとともに、二次保健医療圏の実情や圏域特性等を考慮して当該二次保健医療圏における病床の機能別整備を進め、もって神奈川県保健医療計画の着実な推進を図り、良好な医療供給体制の確保に寄与することを目的とする。</p> <p>(意義)</p> <p>第2条 この要綱における用語の意義は、次項に定めるもののほか、医療法（昭和23年法律第205号。以下「法」という。）、医療法施行令（昭和23年政令第326号）及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）に定めるところによる。</p> <p>2 次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 病床 法第7条第2項の規定に定める「療養病床」及び「一般病床」をいう。</p> <p>(2) 病院等の開設等 病院の開設又は病院の病床数の増加若しくは診療所の病床の設置又は診療所の病床数の増加をいう。ただし、法第7条第3項に規定する許可を要しない診療所の一般病床及び法第30条の4第9項に規定する特例許可によるものを除く。</p> <p>(3) 神奈川県保健医療計画 神奈川県が法第30条の4の規定により定めた神奈川県における医療を提供する体制の確保に関する計画をいう。</p> <p>(4) 二次保健医療圏 神奈川県が法第30条の4第2項第12号に規定す</p>

して病院及び診療所の病床整備を図るために設定した地域的単位をいう。

(開設責任者の責務)

第3条 病院等の開設等をしようとする者（以下「開設予定者」という。）は、地域における病院等の医療の提供の役割を認識し、神奈川県保健医療計画に基づく二次保健医療圏における病床の機能別整備が図られるよう協力するとともに、この要綱に定める手続を遵守するものとする。

(事前協議の対象とする病床及び二次保健医療圏並びに地域に必要な病床機能等)

第4条 知事は、毎年度4月1日現在における既存病床数を調査した結果、既存病床数が基準病床数を下回ることとなる二次保健医療圏について、その状況が事前協議の対象とするに足りるものであるか否か及び地域に必要な病床機能などについて当該二次保健医療圏に関する事項を所掌する地域医療構想調整会議（横浜、川崎北部、川崎南部、相模原以外の二次保健医療圏においては地区保健医療計画推進会議。以下同じ。）における協議結果を確認するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、知事は、病院等の開設等が予定される場所（以下「開設予定場所」という。）が横浜市、川崎市又は相模原市（以下「政令3市」という。）の区域内である場合にあっては、各当該市の長に、既存病床数が基準病床数を下回ることとなる旨を通知するとともに、各該当区域に関する事項を所掌する地域医療構想調整会議の協議結果を確認し、当該確認結果を各当該市の長に報告するものとする。

3 前項の規定による報告をする場合において、知事は、政令3市の長に対し、次の各号に掲げる政令3市の区分に応じ、当該各号に定

る主として病院及び診療所の病床整備を図るために設定した地域的単位をいう。

(開設責任者の責務)

第3条 病院等の開設等をしようとする者（以下「開設予定者」という。）は、地域における病院等の医療の提供の役割を認識し、神奈川県保健医療計画に基づく二次保健医療圏における病床の機能別整備が図られるよう協力するとともに、この要綱に定める手続きを遵守するものとする。

(事前協議の対象とする病床及び二次保健医療圏)

第4条 平成29年3月末日現在において既存病床数を調査した結果、既存病床数が基準病床数を下回ることとなる二次保健医療圏については、その状況が事前協議の対象とするに足りるものであるか否かなどについて神奈川県保健医療計画推進会議等の意見を聴取し、必要と認められる場合には事前協議の対象とする。

2 (新設)

3 (新設)

める機関（以下「各市審議会等」という。）の意見を聴いた上で意見を決定し、知事に報告するよう求めるものとする。

(1) 横浜市 横浜市保健医療協議会

(2) 川崎市 川崎市地域医療審議会

(3) 相模原市 相模原市地域保健医療審議会

4 知事は第1項の協議結果及び前項の意見を取りまとめ、神奈川県保健医療計画推進会議等の意見を確認し、必要と認められる場合には事前協議の対象とすることとして決定し、神奈川県医療審議会へ報告する。

5 知事は、前項の決定に係る開設予定場所が横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、藤沢市又は茅ヶ崎市（以下「保健所設置6市」という。）の区域内にあるときは、当該決定に係る事項を各当該市の長に通知するものとする。

(事前協議の申出)

第5条 開設予定者は、法に基づく病院等の開設等の許可を申請する場合には、事前に当該病院等の開設等について知事（ただし、開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、各当該市の長）に協議を申し出るものとする。ただし、この申出は、開設等に当たり工事を伴わない場合においては、原則として申出の翌年11月30日までに法に基づく病院等の開設等の許可申請を行うことができる場合に限るものとし、工事を伴う場合においては、次に定める期間内に工事契約の締結を行い、当該工事契約書を知事（ただし、開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、各当該市の長）に提出することができる場合に限るものとする。

(1) 改修（建物の主要構造部分を取り壊さない模様替及び内部改修）等による増床の場合は、病床配分の決定通知日から1年以内

4 (新設)

5 (新設)

(事前協議の申出)

第5条 開設予定者は、法に基づく病院等の開設等の許可を申請する場合には、事前に当該病院等の開設等について神奈川県知事（ただし、開設予定場所が横浜市にあつては横浜市長、川崎市にあつては川崎市長、相模原市にあつては相模原市長、横須賀市にあつては横須賀市長、藤沢市にあつては藤沢市長、茅ヶ崎市にあつては茅ヶ崎市長）に協議を申し出るものとする。ただし、この申出は、原則として平成30年11月30日までに法に基づく病院等の開設等の許可申請を行うことができる場合に限るものとする。

(1) (新設)

<p>(2) <u>新設（移転再整備を含む）及び増改築を伴う増床の場合は、病床配分の決定通知日から2年以内</u></p> <p>(3) <u>新設のうち、再開発事業・土地区画整理事業等を伴う場合については、事業計画で予定する期日</u></p> <p>(4) <u>前3号に関わらず、知事（ただし、開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、各当該市の長）と調整した結果、これにより難いことが認められる場合は、調整のうえ必要と認められた期間</u></p> <p>2 前項の規定による申出は、開設予定者が病院等開設等事前協議書（別紙様式。以下「事前協議書」という。）を提出することにより行うものとする。ただし、<u>知事に協議を申し出る場合は、開設予定場所を所管する保健福祉事務所長を経由して協議書を提出するものとする。</u></p> <p>3（略）</p> <p>（事前協議書の申出受付期間）</p> <p>第6条 前条の規定による申出の受付期間は、<u>神奈川県保健医療計画推進会議で承認を得た期間</u>とする。</p> <p>（適用除外）</p> <p>第7条 次に掲げる場合にあつては、第5条の規定にかかわらず、事前協議は要しないものとする。<u>ただし、地域医療構想に定める当該二次保健医療圏における必要病床数に既に達している病床機能への変更を伴う場合や、その担うべき医療機関としての役割や機能を大きく変更する場合は、当該二次保健医療圏に関する事項を所掌する地域医療構想調整会議へ事前に説明し、意見を聴くものとする。</u></p> <p>(1) （略）</p>	<p>(2) （新設）</p> <p>(3) （新設）</p> <p>(4) （新設）</p> <p>2 前項の規定による申出は、開設予定者が病院等開設等事前協議書（別紙様式。以下「事前協議書」という。）を提出することにより行うものとする。ただし、<u>神奈川県知事に協議を申し出る場合は、開設予定場所を所管する保健福祉事務所長を経由して協議書を提出するものとする。</u></p> <p>3 事前協議書の提出部数は、2部とする。</p> <p>（事前協議書の申出受付期間）</p> <p>第6条 前条の規定による申出の受付期間は、<u>平成29年12月8日まで</u>とする。</p> <p>（適用除外）</p> <p>第7条 次に掲げる場合にあつては、第5条の規定にかかわらず、事前協議は要しないものとする。</p> <p>(1) 病院等の開設者の倒産、死亡、医療法人化、親族への継承等</p>
--	---

<p>(2) 同一の二次保健医療圏内において<u>同一開設者が</u>病院等の開設場所を変更する場合であって、病床数の増加を伴わないとき。</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) <u>特定病床等で病院等の開設等を行おうとする場合に二次保健医療圏における地域医療の状況を総合的に勘案して知事が</u>事前協議を要しないと認めるとき。</p> <p>2 <u>前項のただし書きの場合において、開設予定場所が政令3市の区域内である場合にあるときは、知事は、該当地域の地域医療構想調整会議の意見を確認し、各当該市の長に報告する。また、政令3市の長は、各市審議会等の意見を聴き、知事に報告するものとする。</u></p> <p>3 <u>知事は、前2項の意見を取りまとめ、必要がある時は、神奈川県保健医療計画推進会議の意見を確認し、その結果を踏まえて事前協議の適用除外とするか否かを決定し、神奈川県医療審議会へ報告する。</u></p> <p>4 <u>知事は前項の決定に係る開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、当該決定に係る事項を当該市の長に通知するものとする。</u></p> <p>5 <u>知事(ただし、開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、各当該市の長)は、第3項の決定について開設予定者に対し通知するものとする。</u></p> <p>6 <u>知事は、地区保健医療福祉推進会議、神奈川県保健医療計画推進会議及び神奈川県医療審議会の各委員等関係機関に通知するものと</u></p>	<p>により当該病院等の開設者が変更される場合であって、病院等の運営が継続しており、かつ当該病院等の開設場所の変更、病床数の増加を伴わないとき。</p> <p>(2) 同一の二次保健医療圏内において病院等の開設場所を変更する場合であって、病床数の増加を伴わないとき。</p> <p>(3) 同一の二次保健医療圏内において同一開設者が病院等間の病床数の移動(分割、合併を含む)を行う場合であって、病床数の増加を伴わないとき。</p> <p>(4) <u>特定病床等で病院等の開設等を行おうとする場合に二次保健医療圏における地域医療の状況を総合的に勘案して神奈川県知事が</u>事前協議を要しないと認めるとき。</p> <p>2 (新設)</p> <p>3 (新設)</p> <p>4 (新設)</p> <p>5 (新設)</p> <p>6 (新設)</p>
---	---

する。

(事前協議の審査)

第8条 知事(ただし、開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、各当該市の長)は、事前協議の申出があったときは、次の事項について審査するものとする。

- (1) (略)
- (2) (略)
- (3) (略)

2 (略)

3 第1項の規定による審査をするときは、当該二次保健医療圏に関する事項を所掌する地域医療構想調整会議の意見を確認するものとする。

4 政令3市の長は、各市審議会等の意見を聴き、審査結果について神奈川県知事に報告するものとする。また、必要に応じ、各地域の地域医療構想調整会議に報告し、意見を求めるものとする。

5 知事は、第3項の意見及び第4項の審査結果を取りまとめ、神奈川県保健医療計画推進会議の意見を確認し、その結果について神奈川県医療審議会へ報告するものとする。

6 (削除)

(事前協議の審査)

第8条 神奈川県知事(ただし、横浜市にあっては横浜市長、川崎市にあっては川崎市長、相模原市にあっては相模原市長、横須賀市にあっては横須賀市長、藤沢市にあっては藤沢市長、茅ヶ崎市にあっては茅ヶ崎市長)は、事前協議の申出があったときは、次の事項について審査するものとする。

- (1) 関係法令に抵触していないこと。
- (2) 神奈川県保健医療計画との整合性があること。
- (3) 病院等の開設等の計画に確実性があること。

2 前項の規定による審査において、事前協議に係る病院等の開設等の計画が、開設予定地及び周辺地域における都市計画法、国土利用計画法、都市再開発法、農地法その他の関係法令との調整が必要と認められる場合においては、開設予定者に対して当該法令を所管する部局との調整を行うよう指導するものとする。

3 第1項の規定による審査をするときは、当該二次保健医療圏に関する地区保健医療福祉推進会議(ただし、横浜市長、川崎市長、相模原市長を除く)に意見を聴くものとする。

4 横浜市長は、横浜市保健医療協議会、川崎市長は、川崎市地域医療審議会、相模原市長は、相模原市地域保健医療審議会の意見を聴き、神奈川県知事に報告するものとする。

5 神奈川県知事は、前2項の意見を取りまとめ、神奈川県保健医療計画推進会議の意見を聴くものとする。

6 神奈川県知事は、前項の規定による意見を聴取したときは、その結果について神奈川県医療審議会へ報告するものとする。

6 知事は前項の規定による報告を行った神奈川県医療審議会での意見を踏まえ、事前協議の審査結果を決定する。

(指導)

第9条 知事(ただし、開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、各当該市の長)は前条第1項の規定による審査の結果、必要と認めるときは、開設予定者に対し病院等の開設等にかかる計画の変更、中止等の指導を行うものとする。

2 開設予定者が前項の指導に従わない場合、保健所設置6市の長は、知事に報告するものとする。

3 知事は、前2項の開設予定者に対して、医療法第7条第3項から第5項、第30条の12の規定を準用し、必要な措置をとることができる。

(事前協議結果の通知)

第10条 知事は、第8条の規定により決定した事前協議結果を保健所設置6市の長に通知するものとする。

2 知事(ただし、開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、各当該市の長)は、事前協議が終了したときは、その結果を開設予定者に対し通知するものとする。ただし、知事は、開設予定場所を所管する保健福祉事務所長を経由して通知する。

3 知事は、地域医療構想調整会議、神奈川県保健医療計画推進会議及び神奈川県医療審議会の各委員等関係機関に通知するものとする。

6 (新設)

(指導)

第9条 神奈川県知事(ただし、横浜市にあつては横浜市長、川崎市にあつては川崎市長、相模原市にあつては相模原市長、横須賀市にあつては横須賀市長、藤沢市にあつては藤沢市長、茅ヶ崎市にあつては茅ヶ崎市長)は、前条の規定による審査の結果必要と認めるときは、開設予定者に対し病院等の開設等にかかる計画の変更、中止等の指導を行うものとする。

2 (新設)

3 (新設)

(事前協議結果の通知)

第10条 神奈川県知事は、神奈川県医療審議会に報告した内容を横浜市長、川崎市長、相模原市長、横須賀市長、藤沢市長、茅ヶ崎市長に通知するものとする。

2 神奈川県知事(ただし、横浜市にあつては横浜市長、川崎市にあつては川崎市長、相模原市にあつては相模原市長、横須賀市にあつては横須賀市長、藤沢市にあつては藤沢市長、茅ヶ崎市にあつては茅ヶ崎市長)は、事前協議が終了したときは、その結果を開設予定者に対し通知するものとする。ただし、神奈川県知事は、開設予定場所を所管する保健福祉事務所長を経由して通知する。

3 神奈川県知事は、地区保健医療福祉推進会議、神奈川県保健医療計画推進会議及び神奈川県医療審議会の各委員等関係機関に通知するものとする。

(事前協議終了後の取扱い)

第11条 事前協議の終了後においてもなお既存病床数が基準病床数を下回ることとなる二次保健医療圏の場合には、第4条の規定を準用する。

(事前協議結果の取り消し)

第12条 保健所設置6市の長は、開設予定者が正当な理由がなく第5条第1項で規定する期日までに病院等の開設等の許可申請又は工事契約の締結を行って当該工事契約書の提出をすることができない場合は、知事に報告するものとする。

2 知事は、開設予定者が正当な理由がなく第5条第1項で規定する期日までに法に基づく病院等の開設等の許可申請を行うことができない場合、又は工事契約の締結を行って当該工事契約書を提出することができない場合は、開設予定者に対し、事前協議結果の通知の取り消しができるものとする。

3 前項の規定により事前協議結果を取り消すにあたっては、知事は神奈川県保健医療計画推進会議の意見を確認し、その結果について神奈川県医療審議会へ報告し、事前協議結果の取り消しを決定する。

4 知事は前項の決定について、保健所設置6市の長に通知するものとする。

5 知事(ただし、開設予定場所が保健所設置6市の区域内にあるときは、各当該市の長)は、第5項の決定について開設予定者に対し通知するものとする。ただし、知事は、開設予定場所を所管する保健福祉事務所長を経由して通知する。

(事前協議終了後の取扱い)

第11条 事前協議の終了後においてもなお既存病床数が基準病床数を下回ることとなる二次保健医療圏の場合には、第4条の規定を準用する。

第12条 (新設)

2 神奈川県知事(ただし、横浜市にあつては横浜市長、川崎市にあつては川崎市長、相模原市にあつては相模原市長、横須賀市にあつては横須賀市長、藤沢市にあつては藤沢市長、茅ヶ崎市にあつては茅ヶ崎市長)は、正当な理由がないのに平成30年11月30日までに法に基づく病院等の開設等の許可申請を行うことができない場合は、開設予定者に対し、事前協議の通知の取り消しができるものとする。

3 (新設)

4 (新設)

5 (新設)

<p>6 <u>知事は、地区保健医療福祉推進会議、神奈川県保健医療計画推進会議及び神奈川県医療審議会の各委員等関係機関に通知するものとする。</u></p> <p>(その他) 第12条(略)</p> <p>(略)</p> <p>附 則 この要綱は、平成29年7月5日から施行する。</p> <p><u>附 則</u> <u>この要綱は、平成30年 月 日から施行する。</u></p>	<p>6 (新設)</p> <p>(その他) 第12条 この要綱に定めるもののほか、病院等の開設等に関わる事前協議に関し必要な事項については、別に定めるものとする。</p> <p>(略)</p> <p>附 則 この要綱は、平成29年7月5日から施行する。</p> <p>附 則 (新設)</p>
--	---